

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	節水等推進事業			
予算科目	4 款 3 項 3 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 水資源の確保			
所管課情報	担当課: 市民生活課		電話番号(内線): 535	
記入者情報	所属長: 出来 和人		担当責任者: 新 英二	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 22 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	雨水タンクを購入する市民、浄化槽を雨水貯留施設に改造する市民			
根拠法令等	伊予市雨水貯留施設購入費補助金交付要綱、伊予市浄化槽雨水貯留施設改造費補助金交付要綱			
事業の目的	節水型まちづくりの一環として雨水の有効利用を促進し、節水意識の高揚を図る。			
事業の内容	節水及び水不足対策のために、雨水タンクを設置する市民に本体価格の1/2以内で上限3万円、また浄化槽の改造については上限12万円の補助を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	広報誌、HP、新たなリーフレットの作成などによる節水意識の高揚に向けた情報の発信			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	943	3,037	64	64
	人件費	1,199	1,220	610	1,220
	合計	0	4,257	674	1,284
人件費 内訳	人工数	0.15	0.15	0.08	0.15
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,199	1,220	610	1,220
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,142	4,257	674	1,284

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
雨水タンク補助申請件数	件	5	20	0	0
浄化槽改造補助申請件数	件	7	20	1	1

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
		2,250	0	0	0	

成果指標				
成果指標	雨水利用促進関係補助金申請件数の累積			
指標設定の考え方	制度利用者の増加により雨水の有効利用が促進され、節水意識の高揚につながる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	34	74	0	0
実績	34	35	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	雨水の有効利用により、日々の節水意識につなげることは重要であると考え、申請件数が増加しない状況である。日々の節水により深刻な渇水に備えるための意識を醸成するための啓発はさることながら、浄化槽改造などは対象者が限られるため、市民のニーズを的確に把握する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	雨水の有効利用は重要なことと考えるが、渇水の時期にならなければ、中々自分のこととして意識できていない。深刻な渇水に対して、事前に備える意識を持つような啓発する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	補助制度の啓発を図った上で今後の存続について検討すること。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。